

「宇宙天気予報の高度化の在り方に関する検討会報告書」
目次構成案について

「宇宙天気予報の高度化の在り方に関する検討会」報告書

目次構成案

1. 国内外の動向と現状

- (1) 検討の背景、宇宙天気現象とは
- (2) 国内の動向
- (3) 海外の動向(国連、米国、英国等)
- (4) 宇宙天気の観測・分析・予報の現状
 - ・NICTにおける実施状況
 - ・警報伝達体制の現状と課題

2. 今後の観測・分析・予報

- (1) 観測体制の在り方
- (2) 宇宙空間における観測センサー設置に向けて
 - ・ひまわり高機能化研究プロジェクト(気象衛星への相乗り)
- (3) 分析・予報の在り方(モデリング、アプリ、解析技術等の今後の強化方策)

3. 警報に関する体制強化

- (1) 今後の警報伝達体制のあり方(NICT→関係府省、関係企業、学術機関、報道機関、海外)
- (2) 社会的影響の度合いを考慮した新しい警報基準(種類・閾値) **【WG報告より】**
- (3) 企業等からの影響(誤動作、混信、不具合等)に関する情報収集の必要性
- (4) 将来の警報基準の見直しの在り方

4. 社会インフラへの影響と効果的な対処

- (1) 基本的な考え方
- (2) 極端な宇宙天気現象(エクストリーム・イベント)がもたらす最悪シナリオ **【WG報告より】**
- (3) 分野別の対処の在り方(影響の定性的説明、今後の対処等)
 - ア 通信・放送分野が受ける影響
 - イ 衛星運用分野が受ける影響
 - ウ 衛星測位分野が受ける影響
 - エ 航空運用が受ける影響
 - オ 電力分野が受ける影響
 - カ 人体被ばくに関する影響
- (4) 今後の取組課題(産業界、学术界、行政等の役割)
 - ・ 産学官連携による国家レベルの危機管理強化に向けた取組課題
 - ・ 企業側のリスク低減策、対策手法の検討、社内体制強化、専門人材配置、共同演習
 - ・ 対策手法の標準化やガイドライン化、対策コストの最適化に向けた調査研究
 - ・ 社会影響を正確に推定できるようにするための調査研究課題
 - ・ 社会インフラにおける共同観測プロジェクト推進、社会インフラへの影響理解
 - ・ 関係者間のデータ共有・情報共有の在り方、相互信頼の醸成
 - ・ リスクファイナンス(損害保険)の役割

5. 学術研究の強化

- (1) 宇宙天気現象に関する学術研究の重要性と課題
- (2) 今後の学術研究に期待される役割
- (3) 今後の研究課題例

6. 人材育成とコミュニティ形成

- (1) 宇宙天気に関する研究人材・専門人材の在り方
- (2) 宇宙天気の周知啓発に向けたコミュニティ形成
- (3) 宇宙天気に関するリスクコミュニケーションの在り方
- (4) 宇宙天気ユーザー協議会に期待される役割
 - ・ 宇宙天気に関するニーズ・シーズマッチング
 - ・ 関連アプリケーションのフィードバック
 - ・ 共同研究プロジェクト組成
 - ・ アウトリーチ、ユーザーとのコミュニケーション

7. 国際連携の強化

- (1) 今後の国際連携・情報発信の在り方

8. NICTに期待される役割

- (1) 連携研究ハブ拠点、学術研究支援、研究者交流、若手育成拠点(インターン等)
- (2) 国際連携の強化、国際連携拠点化、アジア太平洋地域での研究連携
- (3) 宇宙天気データに関するプラットフォームの構築、データフュージョン
- (4) 人材育成やコミュニティ形成の推進
- (5) 企業等が抱える課題の解決支援
 - ・ 個別技術相談
 - ・ アプリ・ツール提供、ライセンスニング
 - ・ 共同研究プロジェクトの形成
 - ・ 衛星故障防止サービスの実用化

【今後のスケジュール】

報告書(目次構成案)の議論



報告書(骨子案)の議論



報告書(本体案)の議論①

報告書(本体案)の議論②



パブコメ(5月中旬～6月中旬)



報告書の決定・公表

第6回検討会(3月25日)

第7回検討会(4月12日)

第8回検討会(4月26日)

第9回検討会(5月10日)

第10回検討会(6月21日)